

申 上清者以保る長
臣 道之清者多計与長

大藏省官務書院官版

廿三年二月五日大目説り

秘

一、金千九百六拾貳圓

廿年度士族勸業資金會同部由り出

但貸下ノ月ヨリ廿八年六月迄借置同年七月ヨリ向テ
年償毎季五月限リ、金利子返納ノ定メ

力愛媛縣下町今改藩亭阿部民次郎以、百九名

ヲ家祿ノ數分ニ照准シ昨口一月二月産業資金
拜借ノ義切領ニテ其身分事歴ヲ調査セシ

處是迄同藩年ノ者ニテ已、資金貸下ノ凡事
ト一概ニシテ合款者ト認定シ前條金貸貸與

ノ件内務大臣蔵西大臣ト協議ヲ遂テ指令ノ
末此度該金額ニ對シ据置年限年ハ限

金トナシ之ヲ殖利ニ其後著手製糸業ニ従
事致度旨申立事情ニ余義相副稟請

二十九

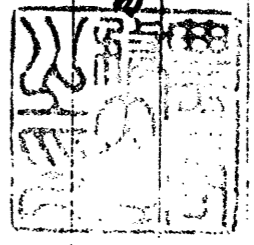
乙六

ノ通許可之義今世皆指合了候ノ之藏者
調査書初尾に報告ス

明治廿二年一月廿四日

農商務大臣仰青井上 啓

内閣後理大臣仰青里田清隆 啓



愛媛縣下旧今治藩卒勸業資本金拝借
願之件

右審按スルニ願人等ハ旧今治藩卒ニテ容年七月中
同藩卒中履歴書ヲ甲乙丙ノ三種ニ仕込ケ勸業資本金
拝借之義出願ノ者ニ對シ同年九月三十日付意見
書及御送付候者ト同様ノ家祿所分ヲ請復祿出願等
都テ同一轍ノ者共ニテ聊種別無之因テ拋棄シ能ハ
サル者共ニ付則内規第二款^{第廿條}一項ニ適當合格ト認
定同款第十條ニ依リ別紙損減金計算書差進候條尚
御熟按有之度候也

野本 大藏省國債局長

浦 大藏省記録局長

渡邊 大藏省主計局長

廿二年一月三十一日

農商務省

大槻農商務書記官殿

農商務省

第乙五八

明治廿二年六月十日

内閣書記官

内閣總理大臣

内閣書記官長

農商務大臣報告旧金澤藩一代
卒一勅業遺存トシテ石川縣廳ニ委
托貸与金損失ニ付補填ノ為大甲
部金ノ内より下添ノ件
右高麗見ニ付又